
介護予防リーダー養成研修 中央地区が終了

～新たに50名の「介護予防リーダー」が誕生～

10月17日を皮切りに、西部地区（吉野川市，阿波市，美馬市，三好郡，美馬郡）でスタートした「介護予防リーダー養成研修」は、10月25日から会場を徳島市のあわぎんホールに移し、中央地区（徳島市，鳴門市，名東・名西郡，板野郡他）の研修を行いました。

西部地区に続き、徳島大学開放実践センターの田中俊夫教授による「骨折・転倒予防」や県医師会副会長の川端正義先生による「認知症予防」、県医師会理事の秋田豊仁先生による「口腔ケア」など、介護予防に関わる各種テーマの講座を4日間にわたり受講、講師の先生方も驚くほどの熱心さでした。最終的に50名の受講生が所定の課程を修了し、徳島県老連会長からの「修了証」と徳島県知事から「介護予防リーダー」としての「認定証」を受け取りました。

「介護予防リーダー養成研修」（第6期）は、このあと南部地区が11月15日から行われることになっています。

